

## 町の教育振興に貢献

佐熊さんが文部科学大臣表彰などを受賞

前町教育委員長の佐熊睦子さん(13区)が、平成29年度の地方教育行政功労者表彰と県教育表彰を受賞しました。

地方教育行政功労者は長年にわたり地方教育行政の充実発展に尽力し、功績を挙げた教育委員に授与される文部科学大臣表彰。また県教育表彰は教育やスポーツなどの分野で貢献、活躍した団体、個人に贈られる表彰で、佐熊さんは12年余りにわたって教育委員、教育委員長として町の教育振興に貢献された功績が認められ表彰されました。



## 地域ぐるみで事故防止

交通安全母の会が4,008人分の署名簿提出

10月26日、町交通安全母の会連合会(千葉千代子会長)が役場を訪ね、町民4,008人が署名した「高齢者を事故から守るための署名運動」と「飲酒運転根絶署名運動」の署名簿を青木町長に手渡しました。

署名では、高齢者を交通事故から守るため、道路横断時の左右確認や思いやり運転の実践など7項目と、飲酒運転根絶のために酒を飲んだら車を運転しない、運転するなら酒を飲まないなど5項目を誓いました。



## 県南地域の魅力をPR

道の駅平泉大秋穫祭

11月11日と12日の両日、道の駅平泉を会場に「道の駅平泉大秋穫祭」(県南広域振興局主催、世界遺産連携推進実行委員会共催)が開催されました。

全国各地から利用者が訪れる道の駅平泉の発信力に期待し、県南の観光資源や地域資源の魅力を伝えるため初めて企画され、新品種米「金色の風」の試食や金色の風に合う料理メニューの実演・試食、地場農産物を使った県南地方のグルメ販売などが行われ、多くの来場者でにぎわいました。

## 感謝の気持ちを込めて片付け

人権の花運動

10月31日、長島保育所で今年6月に実施した人権の花運動のプランターの片付けを行いました。

時折冷たい風が吹く中、年長児16人が人権擁護委員4人とともに、プランターの土を片付け、なかなか落ちない頑固な汚れもブラシを使って丁寧に水洗いしていました。

約5カ月間、花の世話をしながら日々観賞してきた園児たちは、来年も美しい花が咲くよう、感謝の気持ちを込めた作業となりました。



## 楽しく健康づくりに取り組む

町健康づくりの集い

11月12日、第4回町健康づくりの集いが役場と保健センター、平泉ホテル武蔵坊を会場に開催されました。集いは「楽しみながら健康づくりに取り組もう」をテーマに、歯科保健表彰式や減塩料理の試食、講演会などが行われました。

このうち表彰式では、平成29年度の施設歯科健診で虫歯が1本もなかった5歳児30人と、成人歯科健診で65歳で自分の歯を25本以上の歯を保っている17人、70歳で自分の歯を20本以上保っている18人が表彰されました。

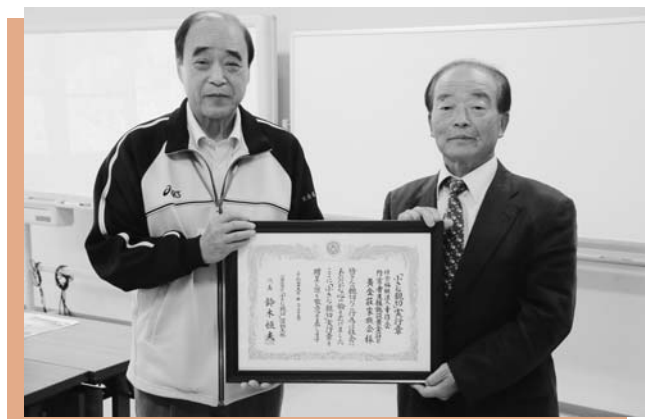


## 地域での清掃奉仕活動を継続

黄金荘と家族会が実行章を受章

障害者支援施設黄金荘と黄金荘家族会では毎年7月に施設に近い県道周辺の草刈りやごみ拾い、土砂の撤去作業などに汗を流しており、地域での清掃奉仕活動の継続が評価され、「小さな親切」運動県本部(代表・田口幸雄岩手銀行頭取)から実行章を受章しました。

11月6日に贈呈式が同施設で行われ、実行章を手渡された黄金荘の得田和明施設長(写真左)と同家族会の高野司会長(写真右)は、清掃奉仕活動継続への意欲を新たにしていました。



## 介護老人保健施設さわなり苑で開催

人権相談交流会

11月21日、介護老人保健施設さわなり苑で利用者約90人を対象に人権相談交流会が開催されました。町内の舞踊団体「砂っ子の会」による「祝い酒」や「美菜の平泉音頭」など舞踊6演目が披露されると、利用者は手拍子をしながら美しく力強い舞に魅了されていました。

その後和やかな雰囲気にながら、人権擁護委員4人が利用者一人一人に日常の困りごとや体調などについて声を掛け、寄り添うように話を聞いていました。



## 今後の方向性について意見を交わす

田んぼアートミニサミット

11月9日、役場を会場に、県内で田んぼアートに取り組んでいる農事組合法人アグリ平泉、奥州市田んぼアート実行委員会、八幡まちづくり協議会、岩手町農商工連携促進委員会の4団体が主催となり、第3回田んぼアートミニサミットが開催されました。サミットには約60人が参加し、田んぼアートの先駆けである青森県田舎館村の鈴木孝雄村長の講演や、各団体代表者によるパネルディスカッションが行われ、田んぼアートの魅力や課題、今後の方向性などについて意見を交わしました。